

札幌市立栄南小学校

平成29年度「全国学力・学習状況調査」の結果について

【国語】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向性について

本校の概要

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題（A）

「話すこと・聞くこと」

△全国平均を上回っている。

「書くこと」

◆全国平均を下回っている。

「読むこと」

◇全国平均とほぼ同程度である。

「伝統的な言語文化と 国語の特質に関する事項」

◇全国平均とほぼ同程度である。

主として「活用」に関する問題（B）

「話すこと・聞くこと」

◇全国平均とほぼ同程度である。

「書くこと」

◇全国平均とほぼ同程度である。

「読むこと」

△全国平均を上回っている。

今回の調査における課題

●目的や意図に応じて、内容の中心を明確にして書くこと。

●手紙の構成を理解し書くこと。

●学年別漢字配当表の当該学年の前の学年までに配当されている漢字を正しく書くこと。

●目的や意図に応じて文章の構成を考えること。

改善の方向

○学習活動に書く活動を位置付け、事実と感想、意見を区別して目的や意図に応じて書くことができる指導の充実。

○他教科等と関連を図りながら手紙を書く学習活動を設定し、手紙の基本的な形式やその意味について理解し、相手や目的に応じて書く事柄を整理し構成することができる指導の充実。

○漢字や言葉の読みと意味の関係を考えながら、様々な学習活動の中で、習った漢字は使うようにしていくことで、漢字を活用することができる指導の充実。

○相手や目的に応じて書く事柄を収集し、全体を見通して、事柄を整理し、構成することができる指導の充実。

【算数】

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題(A)

「数と計算」

△全国平均を上回っている。

「量と測定」

△全国平均を上回っている。

「図形」

△全国平均を上回っている。

「数量関係」

△全国平均とほぼ同程度であるがやや上回っている。

主として「活用」に関する問題(B)

「数と計算」

◇全国平均とほぼ同程度である。

「量と測定」

△全国平均を上回っている。

「図形」

◇全国平均とほぼ同程度である。

「数量関係」

△全国平均を上回っている。

- 小数や分数の乗法や除法の計算の意味について理解し、計算の仕方を考え、それらの計算ができること。

例) $6+0.5 \times 25 \div 9$
(商を分数で表しましょう)

- 資料から必要な数値を選び、その求め方と答えを記述すること。

- 身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量に近いものを判断し、その判断の理由を言葉や式を用いて記述すること。

○具体的な場面と関連付けながら、問題文を図や数直線に表したり、答えの大きさの見当をつけたりすることで、乗法や除法の意味や計算の仕方を理解する指導の充実。

○立式や問題作りの活動を通して、問題となる場面の理解と、数式についての意味を考え、そのことを記述できるようにする指導の充実。

○比較量が基準量に対してどの程度の大きさなのかを示すものであることを理解し、そのことを記述できるようにする指導の充実。